

導入事例 ▶ 本門佛立宗 妙福寺

地域の“よりどころ”になれるお寺を目指して

導入内容 設置：太陽光パネル / 蓄電池
 期間：2024年1月10日着工～2024年3月28日運転開始

Interview

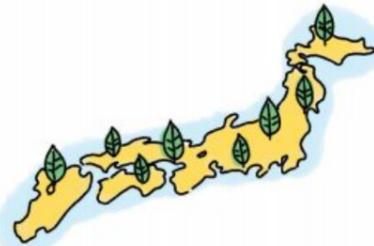
「以前から太陽光発電の設置を検討していたんですが、日当たりや蓄電池の設置場所などの理由から業者に設置は無理だと言われたことがあったんですよ。それなのに竹本さんたちは『絶対できますよ!』と言うから(笑)。しかも、京都市からの援助で設置費用の3分の2は賄えるし、設置後は通常の電気料金よりは安くなると。こんなうまい話はないはずや!と思って警戒していました。

しかし、京都市の同席のもと開かれた説明会などで、繰り返し話を聞くうちにテラエナジーへの信用が増し、太陽光パネルと蓄電設備の導入を決意しました。しかし、お寺は住職やその家族だけで成り立つわけではありません。一般企業と同様にお寺とともに運営する幹部の方々、そして何よりも信者さんの同意が必要不可欠です。



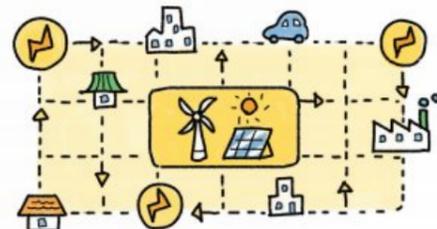
松本現薫 住職

用語解説



脱炭素先行地域

2050年カーボンニュートラルに向けて国が進める事業で、地域特性に応じてCO2排出実質ゼロを先行して実現していく地域のこと。



京都広域再エネグリッド

京都市脱炭素先行地域へ安定的に再生可能エネルギー100%電力を供給するとともに、再エネ電力の地産地消を進める仕組み。



宗教都市・京都の
発電チャレンジ

地域の安心は、
お寺とお宮でつくる



地域災害対策の拠点
地域の災害対応力
向上に貢献します

エネルギーの地産地消
環境問題や地域の
暮らしに貢献します



Contact

☎ 075-874-4851 (携帯電話から通話料有料)

お問い合わせ

☎ 0120-598-116 (固定電話からフリーダイヤル)



TERA Energy 株式会社

〒615-0854 京都市右京区西京極堤外町 18-124



公式HP

お寺とお宮の発電プロジェクトとは？

私たちは、生活をより便利にし、物質的な豊かさを求めるあまり、自然に大きな負担をかけてきました。

一方で、寺院や神社は「小欲知足」を実践し、長年にわたり自然を守り、自然と共に生きることの大切さを伝えてきました。こうした暮らしや営みをさらに展開させ、市民の生活様式に結び付けることが期待されています。

そこで本プロジェクトでは、宗教都市・京都ならではの取り組みとして、寺院や神社に太陽光発電と蓄電池を設置します。地域コミュニティの中心となってきた寺院や神社が太陽光発電と蓄電池を備えることで、地域災害対策の拠点となり、心身さらにはエネルギーの拠り所になることを目指します。

さらに、LED照明と省エネエアコンへの切り替えを促進し、エネルギー消費量を減らして脱炭素地域の実現に寄与します。

※なお本プロジェクトは、弊社が京都市と締結した脱炭素先行地域に係る「京都広域再エネグリッド」の構築に関する連携協定に基づき実施するものです。京都市で寺院・神社での脱炭素転換モデルをつくり全国に展開します。



補助対象となる4つの設備

設置費用(工事費含む)の2/3を補助します。

※いずれか一つの導入も可能です。



太陽光発電の設置



蓄電池の設置



LEDへの切替



省エネエアコンへの切替

導入による地域貢献

地域災害対策の拠点となって安心安全な地域づくり



緊急時の電力供給

太陽光発電と蓄電池を備えることで、停電時や災害発生時などの緊急時における電力供給が可能となるため、住民はより安心して暮らすことができます。

住民の防災意識向上

設置された太陽光発電や蓄電池が、地域の緊急時における電力供給に貢献することが広く知れ渡れば、住民は防災に対する意識を高めることができます。

エネルギーの地産地消で自給自足した地域づくり

地球温暖化防止

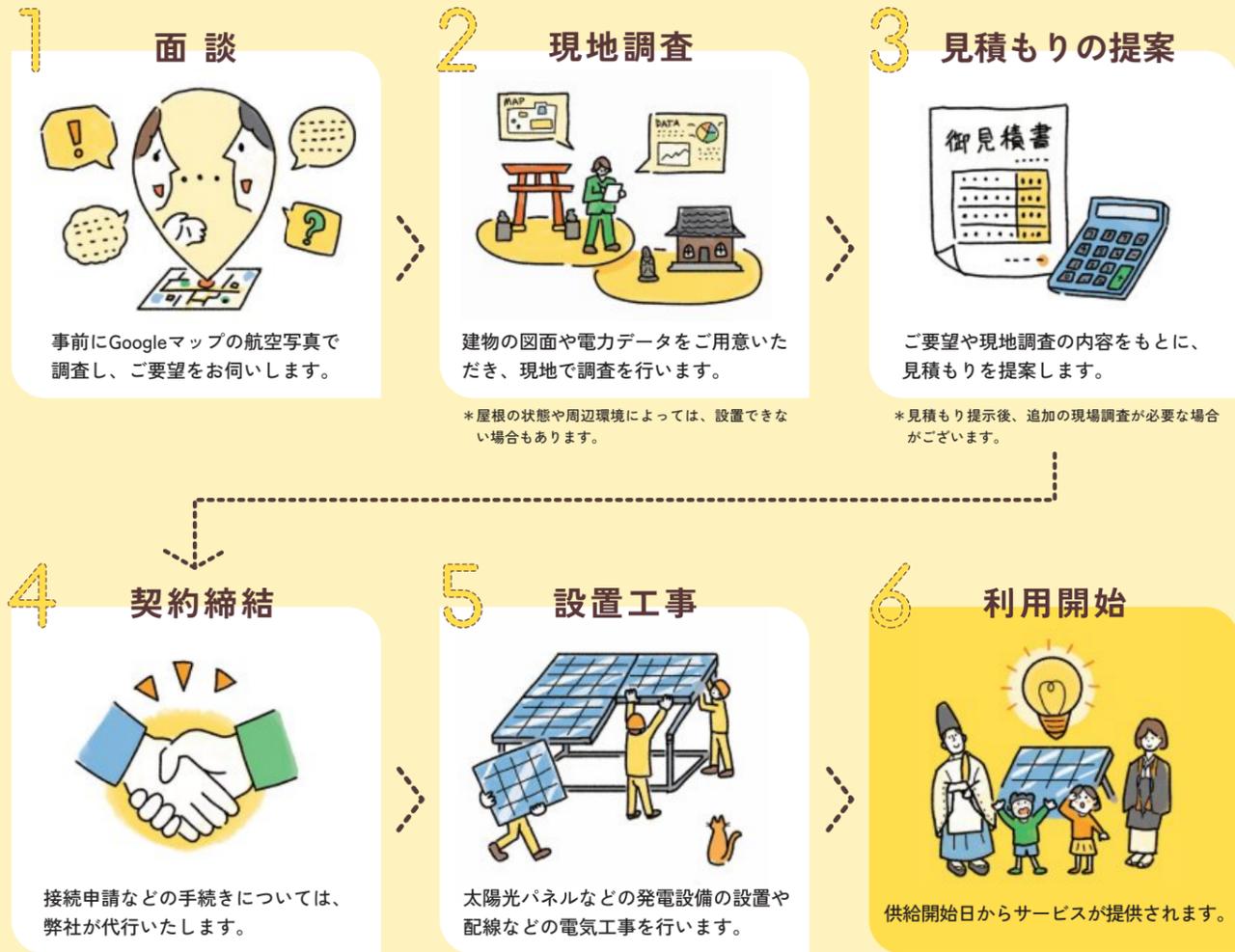
エネルギーの輸送に伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が削減され、地球温暖化の防止につながります。同時に、化石燃料による大気汚染も減少し、大気中の有害物質の浄化や健康被害の軽減につながります。

エネルギー安全保障

輸入エネルギーに頼る必要がなくなり、エネルギー安全保障を確保することができます。また、エネルギーの供給安定性が高まり、エネルギー事故や停電などのリスクも低減されます。



太陽光発電設置の流れ



※蓄電池、LED照明、省エネエアコンに関しても、ご要望に合わせてご説明いたします。